

産業建設常任委員会

日 時 令和 7 年 9 月 1 8 日（木）午前 1 0 時から
場 所 全員協議会室

議 題

1 付託案件（3 件）

- (1) 議案第 7 0 号 令和 7 年度射水市下水道事業会計補正予算（第 1 号）
- (2) 議案第 7 2 号 道の駅新湊条例の全部改正について
- (3) 議案第 7 7 号 射水市水道事業給水条例及び射水市下水道条例の一部改正について

2 報告事項（6 件）

- (1) 認知度向上プロモーション事業の実施について（市制 2 0 周年記念事業）
（産業経済部 観光まちづくり課 資料 1）
- (2) （仮称）射水市アグリテックバレー推進サポートセンター業務委託に係る
公募型プロポーザルの実施結果について
（産業経済部 農林水産課 資料 1）
- (3) 令和 6 年度射水市水道事業の決算見込みについて
（上下水道部 上下水道業務課 資料 1）
- (4) 令和 6 年度射水市下水道事業の決算見込みについて
（上下水道部 上下水道業務課 資料 2）
- (5) 『射水市ウォーター PPP』の導入に向けたプレサウンディングの実施に
ついて
（上下水道部 下水道工務課 資料 1）
- (6) 下水道災害復旧事業の工事請負契約について
（上下水道部 下水道工務課 資料 2）

3 その他

認知度向上プロモーション事業の実施について（市制20周年記念事業）

市制20周年を機に、本市の認知度を更に向上させるため、「水かけ」をテーマとしたプロモーション事業を実施するもの。

1 経緯

首都圏等在住の本市ゆかりの方々と構成する「射水ゆかりネット」から、「射水」の認知度向上に向け、エッジの効いたシティプロモーションを行ってはどうか（例：「水を射る」という名称から、水を掛け合って楽しむイベントを開催・発信する）との提案をいただいた。

この提案を踏まえ、本年5月、本市の認知度向上に向けた企画に関する公募型プロポーザルを実施し、選定された事業者（日本旅行株式会社）と連携し、以下のとおりプロモーション事業を展開する。

2 事業概要

「水合戦」スポーツイベントの開催

年齢、性別、国籍を問わず、誰もが笑顔になれる「水かけ」イベントを実施。市民や観光客が一体となって楽しめる「水合戦」を内川周辺で開催し、ニュースポーツとして情報発信する。

- ・日時：令和7年9月21日（日）
- ・場所：中新橋周辺

プロモーション動画の制作・配信

「水合戦」の様子に加え、海王丸パーク、商店街等での「水かけ」シーンを撮影し、本市の魅力を凝縮した動画を制作し、SNS等で国内外に広く配信する。

※132万回再生を目標とする。

全国で放送されるテレビ番組との連携

メディア露出による知名度向上に向け、全国ネットの人気番組で、取組の趣旨やイベントの様子等に関する特集を組む。

※放送番組は調整中

3 目指す効果

（1）認知度の向上と市名の浸透

- ・ キャッチーな話題づくり

「水かけ」がテーマのイベントとその背景にある”これからの射水市”をPRし、メディアに取り上げてもらうことで、全国的な話題となることを狙う。

- ・ 「射水市（いみず）」の記憶定着

市の名称である「射水」を強く印象付け、「いみず」という読み方とともに全国に浸透させる。

(2) ポジティブな都市ブランドイメージの構築

- ・ 「楽しさ・活気・一体感」のイメージ醸成

市民が一体となって楽しむ姿を発信し、「市民が生き生きと暮らすまち」というポジティブなイメージを構築し、シビックプライドの醸成に繋げる。

- ・ 多様性を受け入れる、明るく開かれたまちのイメージを構築

年齢や国籍などに関係なく誰もが笑顔で参加できる「水かけ」を、多様性を尊重し、人々が共生するインクルーシブなまちである象徴とする。

(3) 地域資源の新たな魅力の再発見と発信

- ・ 映像による魅力の最大化

美しい内川や海王丸パークで人々が水をかけ合い楽しむ映像により、視聴者に強い印象を与え、「行ってみたい」という意欲を直接的に刺激する。

(4) 関係人口の増加

- ・ 持続的な関係の構築

水かけの楽しさがSNSなどで拡散されることで、関係人口の増加に繋げる。

4 予算措置（当初予算：「射水」の認知度向上イベント開催事業） 10,000千円

（うち5,000千円は、国の第二世代交付金（スポーツによる関係人口の創出と地域活性化プロジェクト〔県連携事業〕）を活用）

(仮称) 射水市アグリテックバレー推進サポートセンター業務委託に係る 公募型プロポーザルの実施結果について

1 公募の概要

地方創生の考え方を農業施策の中に取り込み、都市圏にある人材や技術、資本を本市へ呼び込むとともに、農業と融合させ、加えて、スマート農業の普及や農業DX等により農業の成長産業化を目指す「射水市アグリテックバレー構想」を推進することを目的に「(仮称) 射水市アグリテックバレー推進サポートセンター」を設置するため、公募型プロポーザルによる委託業者の選定を行った。

(委託期間：契約締結の日から令和10年3月31日まで)

2 公募参加事業者数

1 事業者

3 優先交渉権者の選定

外部有識者及び市職員の計4名で構成する事業者選定委員会を設置し、参加事業者の企画提案等を総合的に審査の上、優先交渉権者を選定した。

(1) 優先交渉権者

共同提案者

ランドブレイン株式会社・一般社団法人とやまのめ

(2) 提案額

72,633千円(消費税及び地方消費税相当額を含む。)

内訳：令和7年度 14,674千円、令和8年度 28,193千円、
令和9年度 29,766千円

(3) 得点

総得点 293点(100点満点換算 73.3点)

(4) 主な提案

新しい農業のカタチ・いみず農業X(トランスフォーメーション)の実践

～ 農業トランスフォーメーション地方創生の先進地となることを目指す ～

- ・ センターを「アグリライミズ」（流通センター内）に設置
- ・ センターの設置周知のほか、活動内容や支援メニュー、相談窓口、取組情報など一元的に発信・共有するＳＮＳ、ホームページを構築し、情報の収集、タイムリーな発信により、農業者、関係団体、連携企業、消費者との接点を広げる。
- ・ 若手農業者コミュニティと連携し、独立新規就農、法人就農、親元就農、第３者継承など、多様な就農パターンを解説・共有する場を設ける。また女性農業者の取組を発信するとともに交流会などで悩みを収集し、専門家とともに解決に向けサポートしていく。
- ・ 有機農業についての勉強会開催により技術支援を行うとともに、ホームページ等での有機農業を実践している生産者の紹介により、市民への信頼形成、啓発を行う。また、飲食店とのマッチングによる販路形成や射水市有機農業のブランド形成を図る。
- ・ 即戦力としての外部人材確保に向け、副業・短期就労マッチングプラットフォームと連携し、繁忙期の作業支援だけでなく、ＩＴ・マーケティング、物流といった専門領域での支援を受けることにより、経営体の事業多角化や組織力向上を後押しする。

など

(5) 選定委員会の講評

射水市アグリテックバレー構想をよく理解されているとともに、教育面を提案するなど、独自性が出ていた。また、射水市の農業のこともよく分析していた。自分が経営継承した時の苦労や経験を提案に落とし込んである点も評価できる。自分一人で進めるのではなく、ＪＡや県、市との連携を大事にし、いろいろな人を巻き込んで進めていく姿勢がよい。委託期間の３年間で終わらず、取組を持続していく組織づくりも重要視するとのことで、提案されたことの実行を期待する。

(6) 今後のスケジュール

令和７年	９月	委託契約締結
	１２月	業務開始

令和 6 年度射水市水道事業の決算見込みについて

1 概況

水道事業では、将来へ持続可能な事業運営を確立するため、水道事業ビジョンに掲げた『未来へつなぐ安全安心の水道』の実現に向け、経営基盤の強化に取り組んでいます。

近年の水需要の減少を踏まえ、効率的な事業運営に努めるとともに、大規模な地震が発生した場合においても生活に必要な水を供給するため、老朽化する水道管路の更新を積極的に推進し、主要施設における監視カメラの整備や水道水質監視装置を更新するなど、安全安心な水の供給の実現に向けた取組を推進しています。

2 業務量

項 目	令和 6 年度	令和 5 年度	対前年度比較
給水人口	89,180 人	89,998 人	△ 818 人
給水栓数	36,614 栓	36,533 栓	81 栓
配 水 量	10,693,168 m ³	10,495,617 m ³	197,551 m ³
有収水量	9,696,545 m ³	9,781,681 m ³	△ 85,136 m ³
有 収 率	90.7 %	93.2 %	△ 2.5 ポイント
1日最大配水量	37,992 m ³ (2月6日)	40,964 m ³ (1月2日)	△ 2,972 m ³

3 財務諸表

(1) 損益計算書

(単位：千円)

科 目	令和 6 年度	令和 5 年度	対前年度比較	科 目	令和 6 年度	令和 5 年度	対前年度比較
水道事業収益	1,997,968	1,983,355	14,613	水道事業費用	1,817,061	1,720,181	96,880
営業収益	1,835,275	1,848,227	△ 12,952	営業費用	1,714,909	1,615,709	99,200
営業外収益	155,878	135,128	20,750	営業外費用	102,152	104,472	△ 2,320
特別利益	6,815	0	6,815	特別損失	0	0	0

当年度純利益180,907千円（対前年度比較82,267千円の減）

(2) 貸借対照表

(単位：千円)

科 目	令和 6 年度	令和 5 年度	対前年度比較	科 目	令和 6 年度	令和 5 年度	対前年度比較
資 産	22,242,592	21,817,641	424,951	負 債	9,696,268	9,495,124	201,144
固定資産	20,515,312	20,238,664	276,648	固定負債	7,565,102	7,574,621	△ 9,519
流動資産	1,727,280	1,578,977	148,303	流動負債	924,230	853,609	70,621
				繰延収益	1,206,936	1,066,894	140,042
				資本金	11,790,547	11,488,647	301,900
				剰余金	755,777	833,870	△ 78,093
				資本剰余金	0	0	0
				利益剰余金	755,777	833,870	△ 78,093
資産合計	22,242,592	21,817,641	424,951	負債・資本合計	22,242,592	21,817,641	424,951

(3) 剰余金処分（案） ※利益剰余金内訳（減債積立金263,000,000円、未処分利益剰余金492,776,906円）

令和 6 年度射水市水道事業会計未処分利益剰余金492,776,906円のうち311,000,000円を資本金に組み入れるとともに、181,000,000円を減債積立金に積み立て、残金776,906円を繰り越すものとする。（繰越利益剰余金）

4 資金不足比率

— %

令和6年度射水市下水道事業の決算見込みについて

1 概況

下水道事業では、下水道事業ビジョンに掲げる「未来に続く確かな水環境の創造」に基づき、効率的な維持管理や効果的な建設改良を進めることで、次代に引き継ぐ健全な経営環境の実現に向けて取り組んでいます。

令和6年度においては、身近な生活インフラである下水道施設を恒久的に運営するため、老朽管渠の改築やポンプ施設の更新を行うとともに、近年の局地的な豪雨による浸水被害に対して、市民の安全・安心を確保するため、作道第1排水区、小島排水区及び内水浸水想定区域図作成業務などの雨水対策事業に積極的に取り組みました。加えて、能登半島地震による被害の早期復旧に向け、被害調査及び応急修繕に取り組みました。

2 業務量

項 目	令和6年度	令和5年度	対前年度比較
水洗化人口	85,046 人	85,719 人	△ 673 人
接続件数	34,967 世帯	34,689 世帯	278 世帯
処理水量	11,246,884 m ³	11,163,097 m ³	83,787 m ³
有収水量	8,290,832 m ³	8,336,445 m ³	△ 45,613 m ³
有収率	73.7 %	74.7 %	△ 1.0 ポイント
1日最大処理水量	54,810 m ³ (5月29日)	96,410 m ³ (7月13日)	△ 41,600 m ³

3 財務諸表

(1) 損益計算書

(単位：千円)

科 目	令和6年度	令和5年度	対前年度比較	科 目	令和6年度	令和5年度	対前年度比較
下水道事業 収 益	3,685,036	3,928,107	△ 243,071	下水道事業 費 用	3,545,276	3,575,306	△ 30,030
営業収益	1,852,113	1,903,320	△ 51,207	営業費用	3,239,849	3,232,947	6,902
営業外収益	1,802,762	2,023,601	△ 220,839	営業外費用	305,427	342,359	△ 36,932
特別利益	30,161	1,186	28,975	特別損失	0	0	0

当年度純利益139,760千円（対前年度比較213,041千円の減益）

(2) 貸借対照表

(単位：千円)

科 目	令和6年度	令和5年度	対前年度比較	科 目	令和6年度	令和5年度	対前年度比較
資産	57,155,630	58,212,607	△ 1,056,977	負債	42,294,602	43,843,646	△ 1,549,044
固定資産	55,814,272	56,824,006	△ 1,009,734	固定負債	17,143,449	18,519,711	△ 1,376,262
流動資産	1,341,358	1,388,601	△ 47,243	流動負債	2,918,870	2,769,950	148,920
				繰延収益	22,232,283	22,553,985	△ 321,702
				資本金	13,920,843	13,127,209	793,634
				剰余金	940,185	1,241,752	△ 301,567
				資本剰余金	209,140	209,139	1
				利益剰余金	731,045	1,032,613	△ 301,568
資産合計	57,155,630	58,212,607	△ 1,056,977	負債・資本合計	57,155,630	58,212,607	△ 1,056,977

(3) 剰余金処分（案）※利益剰余金内訳（減債積立金126,612,494円、未処分利益剰余金604,432,987円）

令和6年度射水市下水道事業会計未処分利益剰余金604,432,987円のうち464,089,122円を資本金に組み入れるとともに、140,000,000円を減債積立金に積み立て、残金343,865円を繰り越すものとする。（繰越利益剰余金）

4 資金不足比率

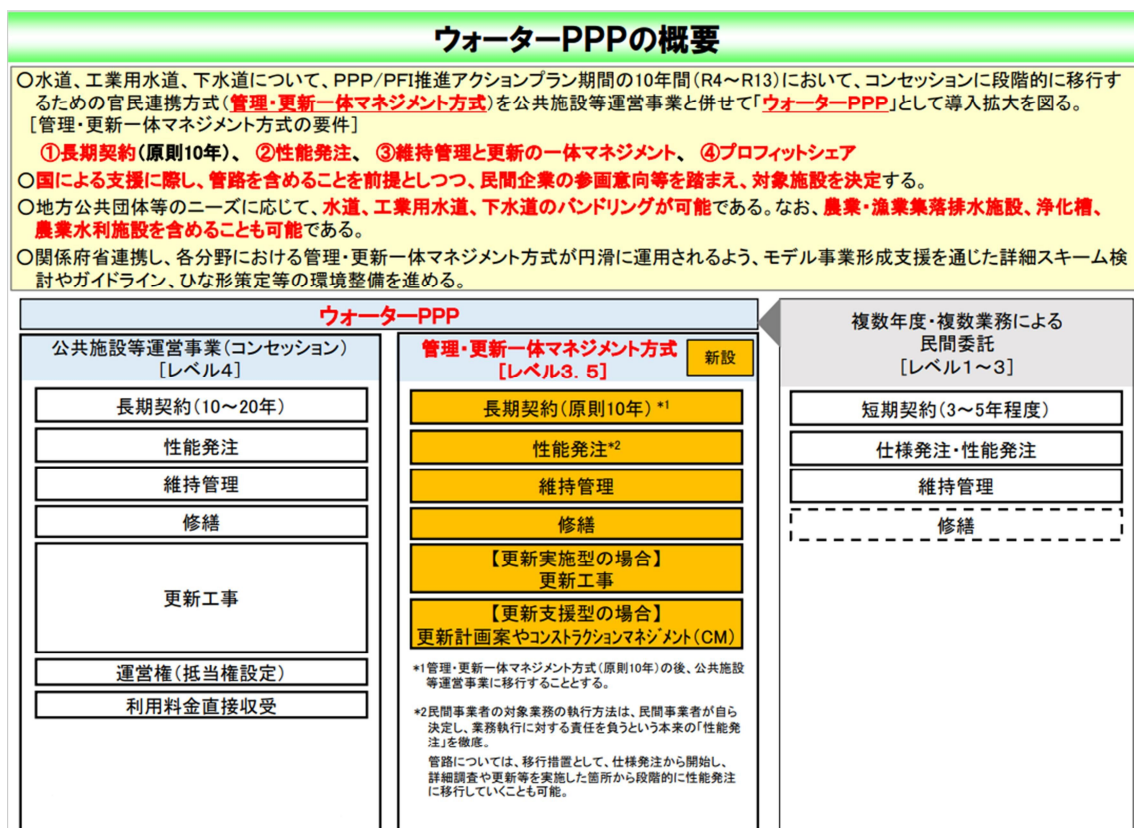
— %

『射水市ウォーターPPP』の導入に向けたプレサウンディングの実施について

1 『ウォーターPPP』について

国では、『PPP/PFI 推進アクションプラン』を推進しており、令和 5 年 6 月には下水道分野においても『ウォーターPPP』と位置づけ、下水道事業の官民連携導入について拡大を図る方針が示されている。また、今後、汚水管の改築に係る国費支援に関して、『ウォーターPPP』を導入決定済みであることが要件化されることになっている。

本市においても下水道が抱える課題（体制補完・技術継承、施設の老朽化対策、経営改善など）の解決を図るため、『ウォーターPPP』の導入を検討している。今年度『国交省ウォーターPPP 案件形成モデル都市支援業務』の選定を受け、国交省から得られる他自治体での課題やその解決方法等の情報を参考として、実施内容を検討・整理しているところである。



内閣府「ウォーターPPP の概要」(R5.6)

2 プレサウンディング（アンケート調査方式）の実施について

本市では、今年度、プレサウンディング（アンケート調査方式）により、民間事業者の関心・意向・意見等を把握し、業務内容、地区、施設など事業スキームの方向性を絞り込みたいと考えている。

3 プレサウンディングの実施方針について

プレサウンディングでは、『ウォーターPPP』への民間事業者の参入意欲を計るため、本市が考える事業内容や事業スキーム等の条件を提示し、民間事業者の関心や意見・懸念、新たな提案等の把握・情報収集を目的としている。また、地元企業がどのような形で事業に参加できるかを検討するため、意見を募る。

参加者の募集方法としては、市のHPで公募する。また、本市の下水道維持管理業者、污水管改築工事の受注者等の地元企業に対し、説明会やヒアリングを行う。

4 今後の予定

令和7年5月～	事前検討 (国のモデル都市支援を受け実施中)
令和7年9月下旬	プレサウンディング公募 民間事業者（地元企業）への説明会、ヒアリング
令和8年2月	基本計画・基本設計のとりまとめ
令和8年度	導入可能性調査 (マーケットサウンディング) 事業手法の決定
令和9年度	事業者募集 (募集・評価書類作成)
令和10年度	事業者選定・契約・引継ぎ
令和11年4月～	事業実施

下水道災害復旧事業の工事請負契約について

1 事業目的

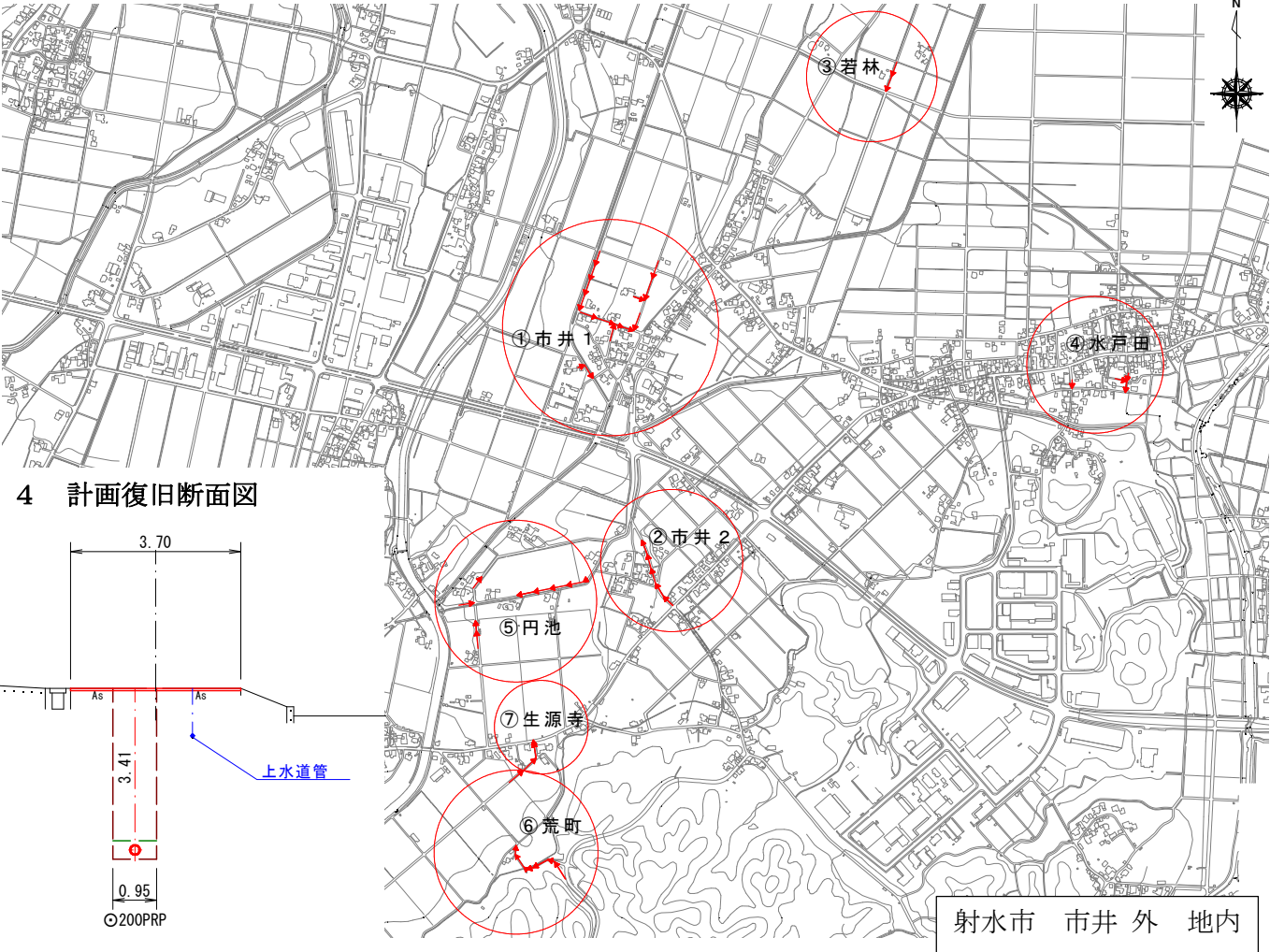
令和 6 年 1 月 1 日に発生した能登半島地震により被災した市井外地内における公共下水道管の復旧工事を実施するものである。

2 工事請負契約の内訳

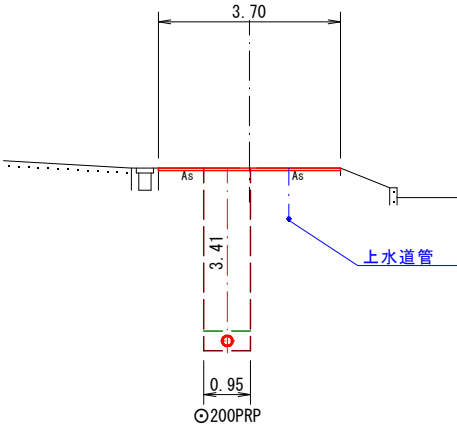
工事名：特環下水道 6 災 168 号大門東部処理区災害復旧工事

契約金額	受注者	予定工期 (余裕期間制度対象工事)	主な工事内容
339,900,000 円 (うち消費税等 30,900,000 円)	射水工業・高 田組特環下 水道 6 災 168 号大門東部 処理区災害 復旧工事共 同企業体	入札日：令和 7 年 5 月 28 日 契約日：令和 7 年 6 月 6 日 実工期：令和 7 年 7 月 1 日 ～令和 8 年 9 月 7 日 (余裕期間 26 日)	工事延長 L=1,767.8m 管布設延長（開削工法） PRP φ 150 L=210.3m PRP φ 200 L=1,517.0m マンホール工（改良） N=14 箇所 付帯工 N=1 式 工損事前調査 N=1 式

3 位置図



4 計画復旧断面図



射水市 市井 外 地内